

共同募金ニュース



【令和5年11月10日発行】
更別村共同募金委員会
事務局：更別村社会福祉協議会内
TEL 53-3500
FAX 52-2161

今年も全国一斉に、10月1日より共同募金運動がスタートしています。

更別村で集まった募金の約10%は、全道の福祉施設・車両への助成と日本各地の大きな災害を支援するため、残りの約90%は来年度の更別村内の福祉活動へ助成されます。

年内、老人保健福祉センター（福祉の里温泉）の窓口で募っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。また12月から始まる「歳末たすけあい募金」は、村内の生活環境に恵まれない方々へ義援金をお届けする運動です。重ねてご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

更別村共同募金委員会 会長 請川 芳 克



厚生労働大臣メッセージ

今年で77回目を迎える赤い羽根共同募金運動が、本日から始まります。

この運動は、昭和22年に開始されて以来、国民の皆様が温かい助け合いの思いによって支えられ、我が国の地域福祉の発展に大きく寄与するとともに、災害時のボランティア活動の支援にも役立てられています。

現在、我が国では、少子高齢化や人口の減少、単身世帯の増加という社会構造の変化や、孤独・孤立といった新しい政策課題に直面しています。

これらの変化や課題に対し、身近な地域で包括的に対応できる体制を実現するため、厚生労働省では、地域住民が共に支え合い、地域、暮らし、生きがいをともに創っていく「地域共生社会」の実現に向けた取組を進めております。

日本の募金運動の草分けとして、寄附文化を育み、住民が相互に支え合う地域づくりの原動力となってきた赤い羽根共同募金運動が、今後も力強く展開され、支援を待つ多くの方々の支えとなることを心から願っています。

本年も、多くの皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

令和5年10月1日

厚生労働大臣 武 見 敬 三

中央共同募金会会長メッセージ

赤い羽根共同募金運動が、本日から全国一斉に始まりました。

共同募金は、戦後間もない昭和22年に「国民たすけあい運動」として開始されて以来、長年にわたって国民の皆様のご支援とご協力に支えられ、今年で77回目の運動を迎えました。

共同募金に寄せられた浄財は、住民相互のさきさきあい活動や福祉活動、災害時の被災地支援に役立てられます。

今、新型コロナウイルスの影響から回復途上にはありますが、人と人とのつながりが壊れ、孤独・孤立の状態に置かれた人々や、生活に困窮する人々も依然、地域には多くいらっしゃいます。

こうした人々の生活再建のために、全国各地で多様な民間支援活動が立ち上がり、援助が広がっています。このような活動を地域でともに作り出し、育て、継続を支えていくことが、共同募金に求められる重要な役割です。

このため、全国の共同募金関係者の皆さまと、手を携えてともに取り組んで参りたいと存じます。

関係者の皆さまの変わらぬご尽力を、今年もよろしくお願い申し上げます。

令和5年10月1日

社会福祉法人 中央共同募金会

会長 村 木 厚 子

令和5年度の共同募金助成金事業のご紹介

「ふれあい広場」が4年ぶりに開催～社会福祉協議会～



手作り品や更農高の野菜販売、学童のおやつ屋さん、お楽しみ抽選会などが催され、210名が来場しました。

【助成金額】
：225,000円

今年も12月から進めます「たすけあいですべり止め砕石配布」～社会福祉協議会～



今年も12月より温泉窓口などでの無料配布を進めていきます。ご近所でお声を掛け合いながら、転倒防止のために活用ください！砕石ペットボトルづくりは、今年もコムニの里さらべつ、元気の里さらべつ、どんぐり福祉会にもご協力をいただきます。

【助成金額】：132,000円

日本国内の災害義援金を受け付けています

現在募集中の災害義援金です。ご寄付は北海道共同募金会を通じて被災県へ贈られ、見舞金・生活支援として被災者へ届けられます。

募金箱は老人保健福祉センター（福祉の里温泉）の窓口を設置しています。



- 令和5年6月・7月大雨災害義援金 ～佐賀・山口・福岡・秋田・大分・石川県～（R6/3/29まで）
- 沖縄県令和5年台風第6号災害義援金（R5/11/30まで）
- 令和5年台風13号災害義援金（R5/12/31まで）



北海道更別農業高等学校とのコラボレーションにより制作された、更別オリジナル赤い羽根ピンバッジ『どんぐりず』老人保健福祉センター（温泉）窓口で、500円の寄付につき一個進呈中！ **12月5日(火)で終了です！！**

～いつもありがとうございます。今後とも共同募金運動へのご理解をお願い申し上げます～